

第2回 G1 チャンピオンシップ 記録ログ 1 日目

2022 年 12 月 3 日(土)

チーム：眼鏡と熊と狐

【メンバー】

- ・ダッシュ熊（プロハンターNo.3）
- ・いんこ（プロハンターNo.2）
- ・如月一（プロハンターNo.31）

心のどこかではすでに自分たちのものになっていた宝が、わずかな手の隙間から零れていった。

2021 年 12 月 5 日

瀬戸内海に浮かぶ小さな宝島で、我々「眼鏡と熊と狐」チームは、海賊王の宝を見つけることに、失敗した。

ライバルハンターの笑みが、トゲとなり全身を貫く。なぜ我々は宝を手に入れられなかったのか。慢心、環境の違い....。

常に心の中に悔しさが引っ掛かりながら、9ヶ月が過ぎようとしていた。

一そんなある日のこと。

『第二回 G1 プロハンターチャンピオンシップのお知らせ』

いつもの会社員に戻り日常生活を送っていた我々を、再び野心溢れるプロハンターに引き戻すのに時間はかからなかった。

もう一度、挑戦したい。その栄光の頂点に向かって！！

1 日目・ゲーム開始前

2022 年 12 月 3 日。今回の舞台は東京都内。前回とはうってかわり、都会での開催となった。

始まりの地である「荒川総合スポーツセンター」に我々が到着すると、既にロビーには 20 人ほどのハンターの姿が。

去年と大きく異なるのは、この 2 年間のハンター活動を経て、プロハンターたちの中には

ある種の仲間意識が芽生えていたことだ。チーム同士の挨拶が頻繁に交わされている。

「今日だけはお互いライバルですね。負けても恨みっこ無しで頑張りましょう！」

今回参加する 15 チームはほとんどが知り合いだった。それだけに、お互いの強みも知っている。謎解きが強いことで有名なメンバーも数多く参加していた。前回以上に強いチームが揃っていたのだ。

ちょうど昨日、サッカーワールドカップで日本がスペインにまさかの勝利をし、決勝リーグにコマを進めた。日本中が歓喜の渦に包まれた。
我々も、日本チームのように奇跡を起こして勝ちたい。

そう強く信じて、会場となる 4 階の大ホールに歩みを進めた。

開場時刻になり、ほどなくしてルール説明が始まる。

どうやら、今回の戦いで最終的に入手すべきは「荒川区に存在すると言われる幻の宝」とのこと。

明日が本番であり、今日はプロハンターの資質があるかを試す予選らしい。

プロハンターではないメンバーが含まれているチームもいるなか、我々は三人ともプロハンターだ。これまでに **2000** にもものぼるクエストをこなしてきた。
とにかく、大事なのは自信を持つこと。
そう言い聞かせて、その瞬間を待ち続けた。

1 日目・ゲーム開始

その瞬間は訪れるべくして訪れた。
一斉に配布された謎をめくる。

「これはまた大変そうだ……」

びっしりと並ぶ **20** 問を前に頭を抱える中、
颯爽と部屋を飛び出す者、その場でじっくりと解き進める者、それぞれの戦略が光る。

我々は準備もそこそこに会議室を飛び出し、お互いの状況を通信しながら役割分担を進めた。

「くまさんは 18 番以降をまず進めてください！」

「如月さんは一番西の尾久まで行ってください！」

これまでの宝探しで培った絆を今役立てず、一体いつ使うのか！

そんな決意も早々に、試練の時が訪れた。

「5 番荒川二丁目駅のパネルが全く見つからない！」

「くまさんから全く応答がない！文章も返してくれない！」

「レンタサイクルが借りられない！」

方々から暗雲立ち込める悲鳴が轟く。

焦る心、通り過ぎる強豪。

相手の進捗が気になり、はやる心を押さえつける。

いま、宝を探しているのは自分だ。宝を探すには冷静でいなくてはならない。

みんな戦っている。繋がっている！！

「見つけました！」

「通信復活しました！」

「やっと借りられました！」

各自の進捗がみんなの力となると実感した。

一步一步積み重ねたものだけが勝者となるのだ。

宝を発見した清々しい気持ち、

仲間と戦いやり遂げた経験、

我々の心に、宝玉が輝いているのだ。

1 日目・ゲーム終了

辺りはすっかり暗くなり、澄みきった夜空が広がっている。

我々は 20 個すべてのミッションをクリアし、最終報告地点の荒川総合スポーツセンターへと全員無事に戻ってくることができた。

時刻は 18:00。

ゲーム終了まで一時間近くあり、余裕と思っていたが、すでに多くのチームがそこには集っていた。

上位 10 チームに残れるのか。不安に襲われるが、とにかく全力を尽くして戦った。ここで負けても悔いはない、

といったら嘘になる。

しかし、今日の戦いを通じ大きな学びを得た。
それだけでも、戦いに参加できた甲斐があった。

荒川区は毎日のように通っている、いわば日常の一部だ。そんな中でも、こんなにもワクワクさせられる戦いを行うことができた。

昨日、仕事で失敗したときに見上げた空はどんよりしていた。今日の空と同じものだ。同じものでもこんなにも輝きが違うものなのか。

見方を変えるだけで、何気ない日常が宝物に変わる。

一宝探しは、人生だ！！











第2回 G1 チャンピオンシップ 記録ログ 2 日目

2022 年 12 月 4 日(日)

チーム：眼鏡と熊と狐

【メンバー】

- ・ダッシュ熊（プロハンターNo.3）
- ・いんこ（プロハンターNo.2）
- ・如月一（プロハンターNo.31）

「2 位は、チーム眼鏡と熊と狐！！」

2022 年 12 月 3 日、時刻は 20:00 過ぎ。

荒川総合スポーツセンターの大会議室にこだましたその声は、我々を安堵の表情に誘った。

そのあとも合格チームが次々と呼ばれる。10 位までの発表が終わり、敗退したチームはここで解散となった。

残ったチームだけに、明日の集合場所が伝えられた。去年優勝し、我々を失意のどん底に落としたライバルハンターの姿は、そこにはなかった。

ひとつの宝を見つけたか見つけなかったかのほんのわずかの差が、運命を大きく分けたのだ。

宝探しの恐怖が感じられた瞬間だった。

勝ち残ったチームは、どこも強豪揃い。明日はますます気の抜けない戦いとなるだろう。

今日は威勢よく豪華な食事をして、明日に備えることにした。

なんといっても、宝探しの後にチームメイトと飲むビールは旨い！！

2 日目・ゲーム開始前

2022 年 12 月 4 日、時刻は 9:00。

今回のスタート地点は「荒川区立尾久図書館」。

そこには昨日勝ち残ったハンターたちが、みな若干の疲れを感じながら集まっていた。

「リニューアルしたあらかわ遊園で、まさか火おこしでもさせられるんですかね。」

火おこしは、今年になってからも無人島クエストで隠岐島まで行ってやってきた。

思い起こせば、ハンターズヴィレッジが始まってからというもの、今までにやったことがなかった数々の体験をすることができた。

火おこしはもちろん、ボルダリング、シャワークライミング、スタンドアップパドル、シーカヤック、セグウェイ、斧投げ、手裏剣投げ、袈裟斬り、瓦割り、ポーカー、などなど。

この 2 年間は、初めて体験する遊びの中で成功の経験を積んで成長が感じられるという、まさに「トレジャーテインメント」を直に実感できた年だった。

プロハンターとして、尚更負けられない！
そう言い聞かせながら、会場内に歩を進めた。

2 日目のルール説明が始まる。

今回のルールは、荒川区に隠された宝の正体を明らかにし、最も早く入手したチームが優勝できるというものだ。ライバルよりもいち早く途中のステップをこなすことが求められる。
これはかなり厳しい戦いになりそうだ…。

2 日目・ゲーム開始

9:30、ゲームスタートの合図で謎を見る。

…なんだ、これは！！

明らかに初日とは難易度が違った。
日本語がかかれておらずグチャグチャになった何らかの文字、全く意味不明な文字列、…。

とにかく機動性を確保するため日暮里駅に全力で向かい、そこから考えましょう！

道中、いんこが閃く。

この記号、数学で使う「アレフ」じゃないかな？だとすると、これはヘブライ語ではない

だろうか。

計算機の配列で「こうえんゆうえん」。荒川区のサイトをみるとそのリストがある。向かうべきは…

デジタル数字を2つずつ区切ると、「ゆいのもり」と読める！

1st ステージは見事な解読で三ヶ所の手がかりを集める。そしてその手がかりが数字→緯度経度→what3words アプリの座標となることに気づき、午前中には伝えるべき単語を特定できたのだった。

「たから。つねに。うごく」

今回の宝、動くのか！！

衝撃が走る。宝はてっきりどこかに埋められているものと思っていたが、さすが都市型宝探し！

12 時過ぎに釣り人と出会い、次のステップに向かう。

どうやら「あらかわデジタルスタンプラリー」をこなしているという情報を twitter から探し、そこの写真の場所に向かうとよいらしい。

二ヶ所を特定し、実際に向かって手がかりをゲット。

ここで我々のチームが大きなミスを犯す。

本来であれば絵馬の情報も見ることがあったが、ここで見逃してその場所を去ってしまった…。

結果的に 40 分の往復時間をロスしてしまった。結局最後の目的地と思われる場所に到達したのは 15 分前。

なんとそこで、今回探すべき「荒山志郎」さんを発見！奇跡がおこった！

が、そんな喜びもつかの間、後ろから他のハンターチームの姿が。

我々は宝である太陽の箱を発見したものの、荒山志郎に伝えるべき言葉がわからなかった。そんな中、後ろからついてきたチームが合言葉を伝える。

荒山志郎とハンターとの間に、熱い握手が。

我々は、またしても、すんでのところで負けてしまった…。

2日目・ゲーム終了

初日 5 時間、2 日目 6 時間にわたる、長い戦いが終わった。

結局、我々は最後の宝を見るところまではいけたものの、最後に伝えるべき合言葉が分からず、今回も宝を得ることができなかった。

今日行った場所は、過去にも何度も来たことがあったところだ。

日常をちょっと見方を変えるだけで、こんなにワクワクする冒険ができるのだと知った。

もう一度、あらためて言おう。

一宝探しは、人生だ！！











01位

メモなし

(報告キーワード20個 報告時間17:49)



02位

眼鏡と熊と狐

(報告キーワード20個 報告時間17:56)



03位

チーム絶望

(報告キーワード19個 報告時間17:42)



04位

じゃくねんそうやきにく

(報告キーワード19個 報告時間17:44)



05位

麺屋武蔵

(報告キーワード19個 報告時間17:47)



